

項目別取りまとめ表(案)(期中評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの)

期中評価実施地区名	中野整備局 昭和43年度契約地																																												
契約件数・面積及び植栽面積	契約面積 2,024ha 植栽面積 306ha ヒノキ 472ha マツ 181ha カラマツ 315ha その他 3ha																																												
森林状況の概況	<p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、現在5万7千ha程度存在し、引き続き森林造成が必要である。</p> <p>管内の国有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。また、不在村者所有割合は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の私有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p>																																												
公益的機能及び整備状況	<p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の私有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の国有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p>																																												
事業の進捗	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">樹種</th> <th rowspan="2">植栽</th> <th rowspan="2">平均樹高</th> <th rowspan="2">平均胸高直径</th> <th colspan="2">301ha当り</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>応乗樹化</th> <th>生育遅れ(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>14.1m</td> <td>20.3cm</td> <td>254㎡</td> <td>15%</td> <td></td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>13.5m</td> <td>19.2cm</td> <td>250㎡</td> <td>15%</td> <td>1%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>マツ</td> <td>15.7m</td> <td>23.1cm</td> <td>227㎡</td> <td>11%</td> <td></td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>カラマツ</td> <td>17.6m</td> <td>21.7cm</td> <td>211㎡</td> <td>4%</td> <td></td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13%</td> <td></td> <td>13%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均樹高及び平均胸高直径の概況は、サンプル調査した結果に基づき推定値である。</p>	樹種	植栽	平均樹高	平均胸高直径	301ha当り		計	応乗樹化	生育遅れ(%)	スギ	14.1m	20.3cm	254㎡	15%		15%	ヒノキ	13.5m	19.2cm	250㎡	15%	1%	16%	マツ	15.7m	23.1cm	227㎡	11%		11%	カラマツ	17.6m	21.7cm	211㎡	4%		4%	計				13%		13%
樹種	植栽					平均樹高	平均胸高直径		301ha当り		計																																		
		応乗樹化	生育遅れ(%)																																										
スギ	14.1m	20.3cm	254㎡	15%		15%																																							
ヒノキ	13.5m	19.2cm	250㎡	15%	1%	16%																																							
マツ	15.7m	23.1cm	227㎡	11%		11%																																							
カラマツ	17.6m	21.7cm	211㎡	4%		4%																																							
計				13%		13%																																							
森林状況	<p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の私有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の国有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p>																																												
森林整備未済地(注2)	<p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の私有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の国有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p> <p>管内の公有林は、平成12年から平成17年にかけて減少しており、地域の森林整備に支障をきたしている。</p>																																												

(注)生育状況の把握
 調査：道林木の1ha当たり成立本数が県界生立本数(森林団地整備前における樹種別成長率と比定本数で、以下同じ。)以上で、かつ、植栽が周辺の平均的な山林と比定本数の1.2倍を超えているもの。
 生育遅れ：植栽木の1ha当たり成立本数が県界生立本数(森林団地整備前における樹種別成長率と比定本数で、以下同じ。)以下で、かつ、植栽が周辺の平均的な山林と比定本数の0.8倍以下のものである。
 不良：(a)植栽木の1ha当たり成立本数が県界生立本数(森林団地整備前における樹種別成長率と比定本数で、以下同じ。)以下で、かつ、植栽が周辺の平均的な山林と比定本数の0.8倍以下のものである。(b)植栽木の1ha当たり成立本数が県界生立本数(森林団地整備前における樹種別成長率と比定本数で、以下同じ。)以下で、かつ、植栽が周辺の平均的な山林と比定本数の0.8倍以下のものである。(c)植栽木の1ha当たり成立本数が県界生立本数(森林団地整備前における樹種別成長率と比定本数で、以下同じ。)以下で、かつ、植栽が周辺の平均的な山林と比定本数の0.8倍以下のものである。(d)広葉樹化した割合。

事業コスト削減の可能性	間伐に当たっては、契約相手方の理解を得るなかで、避木及び間伐手法を工夫（列状間伐や間伐率を最大限に適用した強度な間伐等）することによりコスト削減を図る。
景観への配慮	適切な森林整備の実施により、人工木の景観として良好な地域景観の形成に寄与している。なお、作業道開設等において景観と調和する間伐材等木材を利用した工法の採用を進めている。
関係者の意見・意向	周辺の平均的な山林より生育が悪いが、所在町町村及び契約相手方からの機能発揮への期待が大きい、引き続き道期作業の計画以上の造林地を対象として詳細な森林調査を実施された森林。 (注1)森林調査地は、概ねIV路級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。 (注2)森林調査地は、改種等による若齢林である等の理由から、詳細な森林調査が実施された森林。 (注3)森林調査地は、生育状況を林齢別面積で加重平均したものである。(広葉樹林化したた林分を除く。) (注4)森林調査地は、林分と、植高・Sha当たり材積とも収穫予測表の5等以上の材積を示す。

留意事項	
期中評価実施地区の林分について	<p>当該地区の伐採履歴や評価内容等を参考に、適切な伐採管理に努める。</p> <p>・ 当該地区の伐採履歴や評価内容等を参考に、適切な伐採管理に努める。</p> <p>・ 過去の契約地の事業実績や評価内容を参考に、適切な伐採管理に努める。</p> <p>・ 当該地区の伐採履歴や評価内容を参考に、適切な伐採管理に努める。</p> <p>・ 過去の契約地の事業実績や評価内容を参考に、適切な伐採管理に努める。</p>

項目別取りまとめ表(案)(期中評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの)

期中評価実施地区名		中野鷹巻 昭和48年度契約地																																	
英約牛数・面積及び植栽面積	英約牛数61件 面積947ha 植栽面積3,555ha	マツ 166ha カラマツ 614ha その他 1ha																																	
森林整備の要化	<p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p>																																		
公益的機能の重要性及び整備状況	<p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p>																																		
事業の進捗	森林調査	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">樹種</th> <th rowspan="2">平均樹高</th> <th rowspan="2">平均胸高直径</th> <th colspan="2">材積</th> </tr> <tr> <th>材積</th> <th>材積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>18.2m</td> <td>18.7cm</td> <td>222m³</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>12.0m</td> <td>16.9cm</td> <td>209m³</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>マツ</td> <td>18.6m</td> <td>21.0cm</td> <td>179m³</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>カラマツ</td> <td>14.5m</td> <td>17.9cm</td> <td>159m³</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	樹種	平均樹高	平均胸高直径	材積		材積	材積	スギ	18.2m	18.7cm	222m ³	1%	ヒノキ	12.0m	16.9cm	209m ³	1%	マツ	18.6m	21.0cm	179m ³	1%	カラマツ	14.5m	17.9cm	159m ³	1%	計				1%	<p>広葉樹化 16%</p> <p>生育遅れ(計) 1%</p> <p>計 17%</p>
	樹種	平均樹高				平均胸高直径	材積																												
材積			材積																																
スギ	18.2m	18.7cm	222m ³	1%																															
ヒノキ	12.0m	16.9cm	209m ³	1%																															
マツ	18.6m	21.0cm	179m ³	1%																															
カラマツ	14.5m	17.9cm	159m ³	1%																															
計				1%																															
森林調査	<p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p>																																		
状況	<p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p> <p>管内の都道府県における民有林のうち、未立木地の面積は減少傾向にある。そのうち、保安林内外は、保安林内における5千ha程度存在し、引き置き森林造成が必要である。</p>																																		

(注)生育状況の把握
 広葉樹化：植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 生育遅れ：植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以下で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 計：植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 (a)植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 (b)植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 (c)植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 (d)植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。
 (e)植栽木の1ha当たり成立本数が限立本数以上で、かつ、樹高が周辺の平均樹高を超えて、必ずしも1.2倍を超えないもの。

事業コスト削減の可能性	間伐に当たっては、契約相手方の理解を得るなかで遅く及び間伐手数を工突（列杖間伐や間伐を最大級に適用した程度）に近づけることによるコスト削減を図る。
景観への配慮	適切な森林整備の実施により、人工林の景観として良好な地域景観の形成に寄与している。なお、作業道開設等において、景観を考慮する間伐材等木材の活用を促している。
関係者の意見・意向	周辺の平野的な農産物を生産しているが、所在市町村及び契約相手方からの機械搬運への期待が大ましく、引き続き適量作業の計画を要望している。

(注1) 森林整備地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。
 (注2) 森林整備地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。
 (注3) 森林整備地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。
 (注4) 森林整備地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。

期中評価実施地区の林分について	留意事項
<p>・ 伐採地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。</p> <p>・ 伐採地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。</p>	<p>・ 一部は、伐採地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。</p> <p>・ 一部は、伐採地は、概ねIV齢級以上の造林地を対象として詳細な森林調査が実施された森林。</p>

事業コスト削減の可能性	間伐に当たっては、契約相手方方の理解を得るなかで進木及び間伐手注を工夫（列状間伐や間伐申を最大限に適用したた強度な間伐等）することにより、コスト削減を図る。
景観への配慮	適切な森林整備の施策により、人工林の景観として良好な地域景観の形成に寄与している。なお、作業道開設等においてには景観と調和する間伐材等木材を利用した工法の採用を進めている。
関係者の意見・意向	周辺の平均的な山林と同様の生育をしており、所在市町村及び契約相手方からの機能発揮への期待が大ききく、引き続き農業者の計画的な実施を要望している。

(注1) 森林資源調査は、昭和44年度調査の結果として詳細な森林調査が実施された森林。
 (注2) 森林資源調査は、昭和44年度調査の結果として詳細な森林調査が実施された森林。
 (注3) 森林資源調査は、昭和44年度調査の結果として詳細な森林調査が実施された森林。
 (注4) 森林資源調査は、昭和44年度調査の結果として詳細な森林調査が実施された森林。

留意事項	
期中評価実施地区の林分について	<p>当該伐地等の生育状況を見るとき、間伐収入の確保に努めながら主伐期の林分がほとんどであり、密度管理のため間伐地等の生育管理を行い、一部の林分については、投入広葉樹林化している。伐入広葉樹の育成に重点を置いていく。植林が前年より増加している。間伐材の成長を見ながら、植林の成長を促進している。その箇所については適切な伐地等の生育管理を参考にし、適切な生育管理に努める。</p>

留 意 事 項	
<p>新中評便突地区の森分についての家忠</p>	<p>・ 当該地区の圍々管の管程の突約越の生育状況を見るのと、種栽木が順調に生育しつつある林分がほとんどであり、除伐等を行なうなど、お、林打につ</p> <p>・ 過去の突約越の事業実施や評価面について、適切な保育管理に努める。</p>

留意事項

期中評価実施地区の林分について

- ・ 当該地区において、伐採等を行っていない林分がほとんどであり、除伐等を行っている林分については、今後の成長を見極めるべく、伐採等を実施する。
- ・ 前年度以降に賦存により4haの改植を実施しているが、その箇所については適切な保育等に努めることが求められている。
- ・ 過去の契約地の事業実績や評価検証内等を参考にし、適切な保育管理に努める。

項目別取りまとめ表(案)(期中評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめたもの)

期中評価実施地区名 契約件数・面積及び植栽面積 山林・林業情勢、農山の状況、その土地社会情勢の変化	中部整備局 平成5年度契約地 契約件数 47件 契約面積 917ha 植栽面積 132ha ヒノキ 389ha カラマツ 23ha その他 106ha	不健全な林分は、一部は保水機能を果たしているが、多くは伐採が完了し、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。
	民営林の割合は、平成12年から平成17年にかけて減少傾向にある。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。	
公益性及び均等性 公益性及び均等性の確保	天竜川水系小池ダム、木曾川水系岩倉ダム等に保つておられる。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。	天竜川水系小池ダム、木曾川水系岩倉ダム等に保つておられる。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。
	天竜川水系小池ダム、木曾川水系岩倉ダム等に保つておられる。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。	天竜川水系小池ダム、木曾川水系岩倉ダム等に保つておられる。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。
	天竜川水系小池ダム、木曾川水系岩倉ダム等に保つておられる。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。	天竜川水系小池ダム、木曾川水系岩倉ダム等に保つておられる。また、一部の林分は、伐採後の管理が不十分で、林況の悪化が著しい。
事業の進捗状況 事業コスト削減の可能性 景観への配慮 関係者の意見・意向	事業の進捗状況 事業コスト削減の可能性 景観への配慮 関係者の意見・意向	

(注) 生育状況の調査
 1. 調査対象の林分
 2. 調査時期
 3. 調査方法
 4. 調査結果

留意事項

期中評価範囲地区の森林について

- ・当該地区の管理が行われている状況を確認し、必要に応じて、現地調査を実施する。
- ・当該地区の管理が行われている状況を確認し、必要に応じて、現地調査を実施する。
- ・当該地区の管理が行われている状況を確認し、必要に応じて、現地調査を実施する。

